

## 脊柱管狭窄症、ヘルニア、すべり症、頸椎の異常、 変形性膝・股関節症と診断された痛みやシビレ等を、 手術や注射をせずに治療する

一般的な整形外科とは異なる考え方で難治性の痛みを手技で治す—AKA・博田法

### 望クリニック

<http://www.nozomi-clinic-japan.com/>

#### INFORMATION

診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

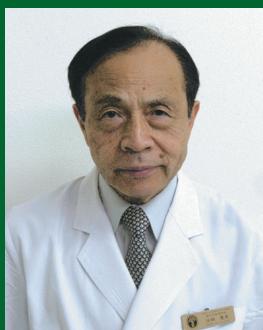
〒171-0032

診療時間：9:00～13:00/14:00～18:00

東京都豊島区雑司が谷2-4-1 地下1階

休診日：日・月・祝

TEL.03-3986-7889 完全予約制※自費診療



院長 住田 憲是

すみた・かずよし●岐阜薬科大学卒業、東邦大学医学部卒業。日本整形外科学会認定整形外科専門医となり、手術、ブロック、薬物等、最新の治療を駆使するも良くならない痛みの多さに現在の整形外科に不足があると実感する。AKA-博田法に出会い、以後今までAKAを中心とした痛みの治療に特化して診療を行う。

狭窄症、ヘルニア、すべり症、変形性関節症は手術しかないと思いませんか？

当院で行っているAKA、博田法（以下、AKA）とは、関節の動きを良くすることでの痛みやシビレを治すという方法です。治療は術者の手により1つ1つの関節を丁寧に動かしてゆきます。これにより狭窄症、ヘルニア、すべり症、関節の変形等の、痛みやシビレを根本から良くなりります。特に骨盤にある仙腸関節の動きを良くすると、身体の様々な部位の痛みやシビレが良くなることが多いのです。

アッても、痛みやシビレは良くなる  
狭窄症やヘルニア、すべり症等、MRIやレントゲンで「異常」が

### 手術が不要になることも

当院はAKAに特化した医療機関として約30年（1986年1月～2016年9月）、4万人以上の初診患者さんを診療してきました。その経験から、熟練者がAKAを行うと、手術が必要と言われるような痛みやシビレを訴える方は著しく改善し、その多くは手術も不要になっています。

### 手術をする前に、 治らないとあきらめる前に AKAを！

写真①はすべり症で脊柱管狭窄症と診断、手術を勧められて来院された方です。この方は3回の治療で痛みが治り、手術が不要になりました。他

にヘルニア、頸椎の異常と診断された方でも、痛みやシビレが良くなることがあります。また写真②は整形外科で変形性膝関節症と診断され、手術を勧められた方です。AKAで痛みが改善し、手術を回避出来ました。他に変形性関節症は、股関節にも起こります。いずれもAKAにより痛みの改善が期待できます。このようなケースは決して珍しくありません。

### 根本治療を目指す AKAで痛みの

怪我以外の痛みやシビレの多くが、その病名と関係なくAKAにより改善していまます。今まで治療を受けても良くなつていよい方、従来とは異なる考え方のAKAを試みる価値があるでしょう。



副院長 住田 憲祐

すみた・かずひろ●千葉県流山市、のぞみ整形外科・内科クリニック院長兼務。



当院の患者さんは、いろいろな治療を試みて良くなつていい方が大半です。手術をしないと良くならないのか？そもそも、手術をすれば本当に良くなれるのか？こんな思いで来院されます。そのため、一人ひとりの患者さんに対して真剣勝負だと考えて治療にあたっています。患者さんの「良くなつて旅行に行けた」などのお話を聞くと本当に良かったなあと思います。  
個々の疾患についての詳細はHPをご覧下さい。